

## EST-500 エンジン耕うん機 かんたんガイド

本書は日々の使用のための始動方法や  
取り扱いのポイントに記載しています。  
必ず別冊の取扱説明書をお読みの上、  
製品を正しくご使用ください。  
改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。

製品の修理に関するお問い合わせは...工進修理受付窓口へ

 **0120-987-386**

平日：9:00～17:00

会社休業日・土日祝祭日を除く。

製品に関するお問い合わせは...お客様相談窓口へ

 **0120-075-540**

受付時間に変更がある場合は、  
弊社ホームページにてご案内します。  
<https://www.koshin-ltd.co.jp>

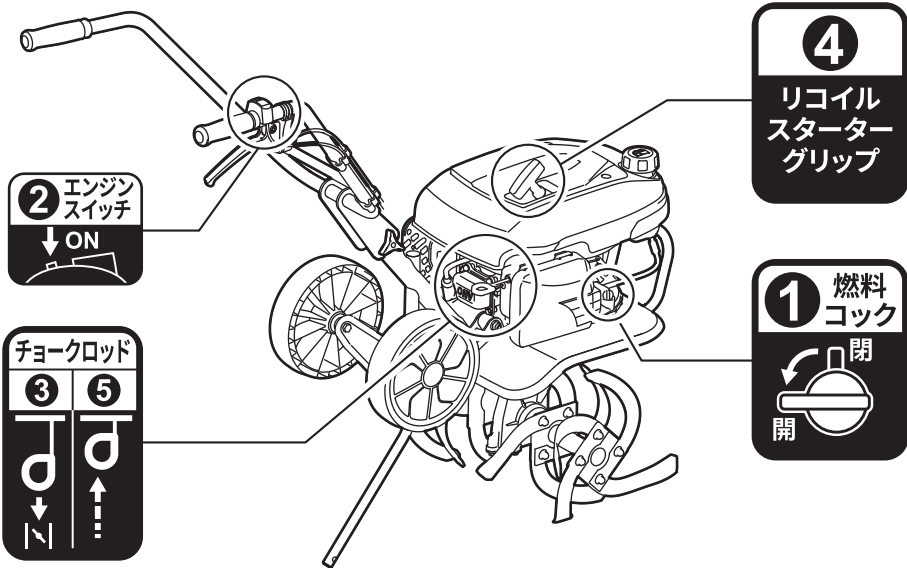
株式会社 **工進**

## 本体の『手順番号』について



手順番号①～⑤の順番で本体を操作することで、  
耕うん機に慣れていない方も迷わずエンジンをかけることができます。

- |                    |   |  |                                       |
|--------------------|---|--|---------------------------------------|
| ハンドル<br>スタート<br>位置 | ① | ① 燃料コックを「開」にする。  | ④ リコイルスターター<br>グリップを引く。               |
|                    | ② | ② エンジンスイッチを「ON」にする。  | ⑤ エンジンが始動したら<br>チョークロッドを徐々に<br>奥まで押す。 |
|                    | ③ | ③ チョークロッドを手前に引く (N)。<br>ただしエンジンが温まっている<br>場合や夏期は奥まで押す (5)。 |                                       |
|                    | ④ |  |                                       |
|                    | ⑤ |  |                                       |



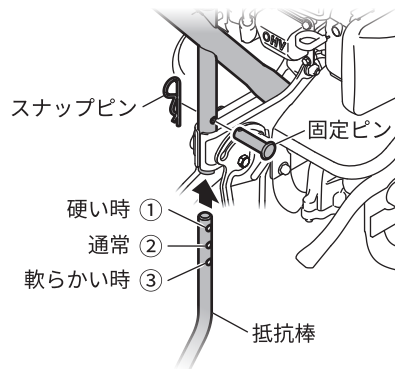
## 上手な使い方

  
動画で見る



### 1 抵抗棒の調整

ほ場の状態に合わせて高さを調整します。通常耕うんでは②に取り付けます。  
ほ場が硬くローターが進みすぎる時は、①に取り付けてください。  
ほ場が軟らかくローターが沈んで前に進まない時は、③に取り付けてください。



#### 取り扱いのポイント

標準ローターによる作業では、②の位置で耕うんをしてから耕うんの状態を見て、抵抗棒の高さを調整します。  
PA オプションのニュースターローター使用時は、①の位置で耕うんを開始し、耕うんの状態を見て抵抗棒の長さを調整します。

※ 左図は、わかりやすくするために車輪を表示しておりません。

### 2 耕うんの仕方

通常は機体が水平になるように耕うんしていきます。硬めのほ場では前傾姿勢(抵抗棒を①)、柔らかめのほ場では後傾姿勢(抵抗棒を③)にすると耕うんしやすくなります。

#### 耕うん時の姿勢

肩の力を抜いて、軽く脇を締め、ハンドルは無理に押さえつけないで、軽く握ってローターに任せて前進しながら耕うんします。

#### 取り扱いのポイント

抵抗棒の跡に足跡を残すと綺麗に耕うんできます。また、耕うん後の種まきや植付けなどの作業が楽になります。

#### 取り扱いのポイント

- 本体が前に進みにくいときは、ハンドルを少し持ち上げると抵抗が減り進みやすくなります。
- 逆に進みすぎる時は、ハンドルを下に押し下げて抵抗を増やすと進みにくくなります。
- 耕うんはローターが半分くらい埋まる深さにしてください。(目安：12～15cm程度)  
これ以上ローターを土に潜らせると負荷が大きくなり耕うん作業ができずに本体が前に進みにくくなることがあります。

#### 取り扱いのポイント

スロットルレバーは基本的にすべて握り切ります。

#### 取り扱いのポイント

ほ場が硬い時は一度に耕うんせず、数回に分けて耕うんします。

※ 絡まった草をとる等、点検をする時は必ずエンジンを停止してください。

## 本格的な3種のアタッチメント(オプション)

各種アタッチメント設定で耕うん以外に畝立・培土作業に対応可能です。

### ニュースターローター 一体型【PA-531】

- 田畑の耕耘作業(あぜこね作業も可)
- 耕幅：56cm・一体型

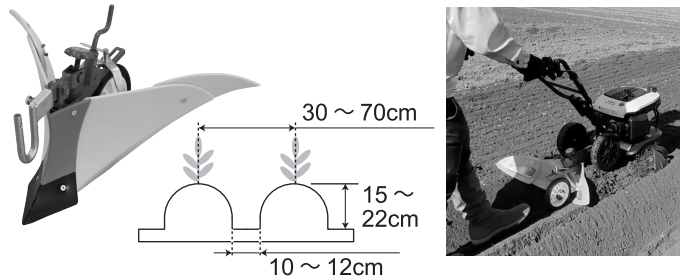


取扱説明書



### ニューイエロー培土器(尾輪付)【PA-532】

- 畝立・中耕培土作業(なだらかな丸畝)・野菜全般
- 作業幅：30～70cm
- けん引力の高いニュースターローターと合わせての使用推奨

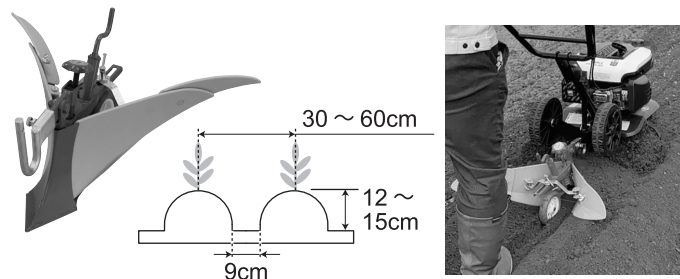


取扱説明書



### グリーン培土器(尾輪付)W【PA-533】

- 畝立・中耕培土作業(小丸畝)
- 作業幅：30～65cm



取扱説明書



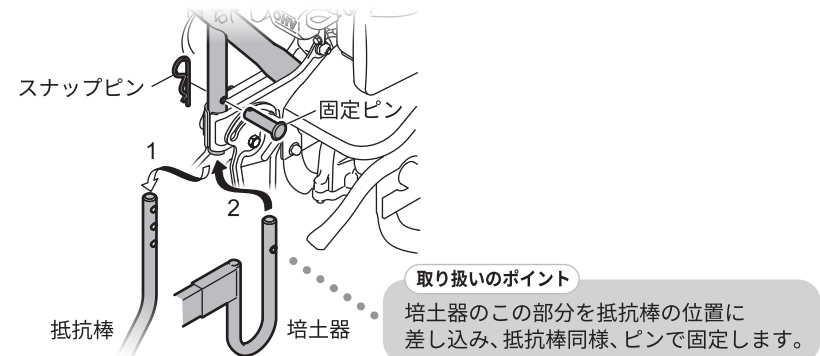
## オプションの培土器を使う時のセッティング

### 前準備

- 培土器を使う前に十分耕うんして土を細かくする。
- 土はある程度乾いた状態にする。  
(土が濡れていると、玉になってうまく培土器が引けないことがあります)

### 培土器の使い方

#### 1 抵抗棒を抜いて、培土器を取り付ける



#### 2 培土器の先端が2～4cm 浮くように高さ調整する

培土器のノブを時計回りに回すと高くなり、反時計回りに回すと低くなります。

